

村創りの会・栗井地区農業戦略会議

【二月十九日】

栗井地区内の農業の発展を目指し、情報交換を目的に、第一回の会議がもたれ有益な情報もたらされました。「日本型直接支払」「水田活用の直接支払交付金」など様々な国の事業が紹介されました。中でも「農村集落活性化支援事業（新規）」は、農協跡地の利用を進める上で有効に思われます。さらに、研修していきたいものです。

共生対流事業の恩恵で中国四国農政局も優先的に支援してくれます。農業戦略も地域連携で大きな力になりそうです。

梶原地区 虚空蔵まつり。二月二十二日



今年も梶原地区に伝わる伝承行事「虚空蔵まつり」が地域の方のご尽力で執り行われました。今年も天候が優れず準備が大変でしたが、それでもみんな盛大に行われました。役員を中心に地域の絆が感じられました。



共生対流事業

藻谷浩介氏・講演会【二月十九日】

中山間地の課題は栗井村だけではありません。美作市全体の課題でもあります。「しなやかな日本列島のつくりかた」「里山資本主義」等の著者・藻谷浩介氏を招いての講演会があり、多くの参加者が熱心に聞き入りました。栗井以外からの方が多く参加して下さいました。

「心を込めていいものを作り、決して安売りしない」「なにもない。当たり前。」「絶対禁句。」「有難い。」「の思いで」「誇りをもつ。」「等、数々の示唆に富んだ助言を得ました。最後に言われた「空き家の利用。」「についてはぜひとも協力して頂きたいことです。常に外部からの新しい視点が必要で。活性化とは人口を減らさないこと、みんなで取り組みましよう。栗井村の未来に向けての方向が決まりました。でしようか。」



栗井小学校・校舎の利用計画 可能性を検討中!



栗井小学校の校舎の後利用は「社会教育施設」として、市民が体験活動等を行える場所にするを中心に、協議が進んでいます。具休案としては、世代交流ステーション、料理教室（農産加工施設等）、学童保育が放課後児童クラブ、カルチャースクール、アトリエや体験工房、趣味の会の集いの場等いろいろな利用法を検討中です。

◆社会教育の拠点として

- ・栗井村公民館」を移し、公民館活動を開始する。
- ・高齢者福祉の拠点として、趣味の会やサロン、料理教室、弁当の宅配等の生活福祉課題に取り組み。
- ・シャボン玉クラブや学童保育、放課後児童クラブなどの拠点として若者支援を強化していく。

◆栗井地区のセンターとして

- ・常勤の嘱託職員を配置、栗井地区の全ての機能を集約し、「小規模多機能自治」を目指す。
- ・栗井地区村創りの会」本部を設置し、社協、自治振等の全ての組織の事務所とする。

◆アトリエ・ギャラリー・工房として

移住定住者の拠点として、企業家支援。カルチャースクール等を開設し、美作市民の交流拠点にする。

◆栗井村・スポーツ施設として

運動場、体育館、夜間照明は規約を作成し、今まで通り使用する。

◆栗井地区の防災センターとして

ソーラーパネルと蓄電池、和室の設置により宿泊機能を持たせ、防災拠点として緊急時に備える。

◆栗井村・特産品の開発拠点として

料理教室（農産加工施設等）が出来れば、栗井村の特産品の開発や、「餅つき、加工」を急ぐ。「餅つき機一式申請中・協働企画課」

◆持続可能な工場の発信拠点としての田舎の社交場

「能登香の湯」を移設し新ボイラーで、施設全体を持続可能なエネルギーで運営し、近未来に向けての情報発信をしよう。また、軽食等が食べられるようにし、フロンティアで一日ゆったりくつろげる場所にする。「旧幼稚園の部分」「百田居酒屋も検討」

◆ネット社会に対応して

栗井村のホームページを元に「能登香の里小房」の宿泊受入や、特産物販売等ネット社会に対応する拠点にする。

◆将来周辺は、「栗井村株式会社」

農協の合理化で、栗井地区に店舗が無くなることに備え、食料・生活用品等の販売や宅配業務（高齢者見守り）、スタンド経営、野菜の直売所などを併せ持つ「栗井村・道の駅」構想を検討中です。

「栗井地区農業戦略会議」で「集落営農」等についても検討中です。第4期中山間地域直接支払制度、18年からの減反政策の廃止に向けて、栗井地区あげての戦略が求められています。

自治 ↓ 自主財源確保 ↓ 還元
福祉の村創り

定住促進

二月二十日の山陽新聞で発表された「美作市版総合戦略」。その中の「地域環境を生かした魅力ある地域づくり」の中に栗井小学校を世交代交流ステーションとして整備することが取り入れられました。今までの三年間取り組んできた成果が、形となってきました。今後は新規就農者支援や空き家提供を積極的に進めていく必要がでてきました。税制も変わります。みんなで栗井地区を活性化していきましょう。

栗井村・花壇の整備

二月二十五日、栗井村の花壇を整備しました。稲尾登さん（栗井中）より、松やサツキをたくさん頂きました。栗井中と梶原に植えました。三月には、この2地区の花壇を岡山県のアダプト事業に登録申請し、未永く手入れを続けていく体制が整います。「美しい栗井村」が、多くの人の好意により実現してあります。



閉校記念碑

栗井小学校の閉校記念碑が完成し、閉校式当日児童や儀式実行委員会会長（早水様）による除幕式が行われました。併せて校門の門柱も昔のよう再現されました。関与頂いた業者様のご厚意で当初の計画より、数段立派なものになりました。ありがとうございました。



【編集後記】この広報誌「能登香の里 あわい村」も一応の区切りを迎えました。「都市農村共生対流総合対策交付金事業」や「能登香の里栗井村」の二年間の動きが伝わりました。でしようか。そして、理解して頂けました。はするほど硬く長くなっています。まとめる力に欠けていました。しかし、情報開示は少しは出来たと思います。

これからの広報誌は、栗井村を元気づける楽しいものになると思います。民話や言い伝えなども伝えたいですね。新しく栗井村にいられた人の意見も聞きたいですね。特に若い人たちの記事が増えればそれだけで元気になるでしょうね。広報誌を通して心が繋がります。絆とやすらぎの里栗井村」の実現の一助となることを願っています。ありがとうございました。